

昭和五年五月七日
日本帝國ト支那共和國トノ間ニ締結セラレタル協定
日本帝國政府及支那共和國國民政府ハ各自ノ代表者ニ依リ左ノ諸條ヲ協議締
結セリ

◎外務省告示第二十七號

昭和五年五月六日日本國及支那共和國代表者間ニ締結セラレタル協定及同
附屬書左ノ如シ

昭和五年五月七日

外務大臣 男爵 幣 原 喜重郎

日本帝國ト支那共和國トノ間ニ締結セラレタル協定

日本國政府及支那共和國國民政府ハ各自ノ代表者ニ依リ左ノ諸條ヲ協議締
結セリ

第一條

日本國及支那國ノ政府ハ日本國ノ領域内及支那國ノ領域内ニ於ケル物品ノ
輸入及輸出ニ對スル税率、戻税、通過税並ニ噸税ニ關スル一切ノ事項カ夫

日本國及支那國ノ法令ニ依リ專ラ規律セラルヘキコトヲ約ス

第二條

日本國及支那國ノ政府ハ物品ノ輸入及輸出ニ對シ適用セラルル關稅、戻稅、通過稅及他ノ一切ノ同様ノ内國課金ニ關シ、噸稅ニ關シ竝ニ右ニ關スル一切ノ事項ニ關シ自國民又ハ他ノ何レカノ外國ノ政府及其ノ國民ニ與ヘラレ又ハ與ヘラルヘキ所ニ比シ不利益ナラサル待遇ヲ互ニ他方ニ對シ及他方ノ國ノ國民ニ對シ相互ニ許與スヘシ

日本國又ハ支那國ノ領域内ニ於テ生産セラレ又ハ製造セラレタル物品ニシテ他方ノ領域内ニ輸入セラルルモノハ其ノ何レノ地ヨリ到ルヲ問ハス輸入稅、戻稅、通過稅及他ノ一切ノ同様ノ内國課金ニ關シ竝ニ右ニ關スル一切ノ事項ニ關シ他ノ何レカノ外國ニ於テ生産セラレ又ハ製造セラレタル同様

々日本國及支那國ノ法令ニ依リ專ラ規律セラルヘキコトヲ約ス

第二條

日本國及支那國ノ政府ハ物品ノ輸入及輸出ニ對シ適用セラルル關稅、戻稅、通過稅及他ノ一切ノ同様ノ内國課金ニ關シ、噸稅ニ關シ竝ニ右ニ關スル一切ノ事項ニ關シ自國民又ハ他ノ何レカノ外國ノ政府及其ノ國民ニ與ヘラレ又ハ與ヘラルヘキ所ニ比シ不利益ナラサル待遇ヲ互ニ他方ニ對シ及他方ノ國ノ國民ニ對シ相互ニ許與スヘシ

日本國又ハ支那國ノ領域内ニ於テ生産セラレ又ハ製造セラレタル物品ニシテ他方ノ領域内ニ輸入セラルルモノハ其ノ何レノ地ヨリ到ルヲ問ハス輸入稅、戻稅、通過稅及他ノ一切ノ同様ノ内國課金ニ關シ竝ニ右ニ關スル一切ノ事項ニ關シ他ノ何レカノ外國ニ於テ生産セラレ又ハ製造セラレタル同様

日本國及支那國ノ領域内ニ於テ生産セラレ又ハ製造セラレタル物品ニシテ他方ノ領域ニ輸出セラルルモノハ輸出税、戻税、通過税及他ノ一切ノ同様ノ内國課金ニ關シ右ニ關スル一切ノ事項ニ關シ同一ノ領域内ニ於テ生産セラレ又ハ製造セラレタル同様に物品ニシテ他ノ何レカノ外國ニ輸出セラルルモノニ與ヘラレ又ハ與ヘラルヘキ所ニ比シ不利益ナラサル待遇ヲ受クヘシ

日本國及支那國ノ領域内ニ於テ生産セラレ又ハ製造セラレタル物品ニシテ他方ノ領域ニ輸出セラルルモノハ輸出税、戻税、通過税及他ノ一切ノ同様に物品ニシテ他ノ何レカノ外國ニ輸出セラルルモノニ與ヘラレ又ハ與ヘラルヘキ所ニ比シ不利益ナラサル待遇ヲ受クヘシ

ノ物品ニ與ヘラレ又ハ與ヘラルヘキ所ニ比シ不利益ナラサル待遇ヲ受クヘシ

日本國及ハ支那國ノ領域内ニ於テ生産セラレ又ハ製造セラレタル物品ニシテ他方ノ領域ニ輸出セラルルモノハ輸出税、戻税、通過税及他ノ一切ノ同様に物品ニシテ他ノ何レカノ外國ニ輸出セラルルモノニ與ヘラレ又ハ與ヘラルヘキ所ニ比シ不利益ナラサル待遇ヲ受クヘシ

噸税及之ニ關スル一切ノ事項ニ付テハ日本國及支那國ノ船舶ハ各他方ノ領域内ニ於テ他ノ何レカノ外國ノ船舶ニ與ヘラレ又ハ與ヘラルヘキ所ニ比シ不利益ナラサル待遇ヲ受クヘシ

日本國及支那共和國ノ間ニ於テ本協定ニ關スル事ハ本協定ノ條ニ依リテ之ヲ行フベシ
日本國及支那共和國ノ間ニ於テ本協定ニ關スル事ハ本協定ノ條ニ依リテ之ヲ行フベシ
日本國及支那共和國ノ間ニ於テ本協定ニ關スル事ハ本協定ノ條ニ依リテ之ヲ行フベシ
日本國及支那共和國ノ間ニ於テ本協定ニ關スル事ハ本協定ノ條ニ依リテ之ヲ行フベシ
日本國及支那共和國ノ間ニ於テ本協定ニ關スル事ハ本協定ノ條ニ依リテ之ヲ行フベシ
日本國及支那共和國ノ間ニ於テ本協定ニ關スル事ハ本協定ノ條ニ依リテ之ヲ行フベシ
日本國及支那共和國ノ間ニ於テ本協定ニ關スル事ハ本協定ノ條ニ依リテ之ヲ行フベシ
日本國及支那共和國ノ間ニ於テ本協定ニ關スル事ハ本協定ノ條ニ依リテ之ヲ行フベシ
日本國及支那共和國ノ間ニ於テ本協定ニ關スル事ハ本協定ノ條ニ依リテ之ヲ行フベシ
日本國及支那共和國ノ間ニ於テ本協定ニ關スル事ハ本協定ノ條ニ依リテ之ヲ行フベシ

第三條

前記諸條及本協定附屬交換公文ニ拘ケラルル規定ハ日本帝國ト支那共和國トノ間ニ成ルヘク速ニ商議セラレ且締結セラルヘキ通商航海條約ニ包含セラレ且其ノ一部ヲ構成スヘシ

第四條

本協定ノ日本語、支那語及英吉利語ノ本文ハ慎重ニ比較セラレ且照合セラレタリ但シ右本文間ニ意義ノ相違アル場合ニ於テハ英吉利語ノ本文ニ表示セラルル意義ニ據ルヘシ

第五條

本協定ハ其ノ署名ノ日ノ後十日目ヨリ實施セラルヘシ
昭和五年五月六日即チ支那共和國十九年五月六日南京市ニ於テ本書ニ通ヲ

作成ス

支那駐前日本 國臨時代理公使	支那共和國國民 政府外交部長
-------------------	-------------------

重光葵	王正廷
-----	-----

昭和二十五年六月十日
支那駐前日本國臨時代理公使
重光葵
支那共和國國民政府外交部長
王正廷

支那駐前日本國臨時代理公使
重光葵
支那共和國國民政府外交部長
王正廷

原三郎

第一附屬書

(往翰) 略

(來翰)

以書翰啓上致候陳者本部長ハ本日附ノ左記貴翰ヲ受領スルノ光榮ヲ有シ候
閣下及本使カ本日署名シタル協定ニ關シ本使ハ日本國政府カ左ノ如ク了
解スルコトヲ陳述スルノ光榮ヲ有シ候

- 一 前記協定ノ實施ノ日ヨリ起算シ支那國政府ハ本翰ノ附屬表第一部
ノ第一、第二及第三項目ノ下ニ課セラルル稅率ヲ三年間又右附屬表
第一部ノ第四項目ノ下ニ課セラルル稅率ヲ一年間日本國ノ領域内ニ
於テ生産セラレ又ハ製造セラレタル右諸項目ニ屬スル物品ニシテ支
那國ノ領域内ニ輸入セラルルモノニ對シ右夫々ノ期間内課セラルル

（表録）
（附録）
第一項表書

輸入税ノ最高率トシテ維持スヘキコト但シ支那國政府カ税率ノ引上
ニ關シ右附屬表ニ於テ爲シタル留保ニ從フヘキモノトス
二 日本國政府ハ前記協定ノ實施ノ日ヨリ三年間ハ本翰ノ附屬表第二
部ノ三項目ノ下ニ課セラルル税率ヲ支那國ノ領域内ニ於テ生産セラ
レ又ハ製造セラレタル右諸項目ニ屬スル物品ニシテ日本國ノ領域内
ニ輸入セラルルモノニ對シ右期間内課セラルル輸入税ノ最高率トシ
テ維持スヘキコト

本使ハ閣下ニ於テ前記了解ヲ確認セラルルヲ得ハ幸甚ノ至ニ存シ候
本部長ハ前記了解カ正確ナルコトヲ支那共和國國民政府ノ爲ニ確認スルノ
光榮ヲ有シ候

本部長ハ茲ニ重テ貴代理公使ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

本國駐劄日本
臨時代理公使
重光葵殿
支那共和國十九年（一九三〇年）五月六日南京ニ於テ
王正廷

支那共和國十九年（一九三〇年）五月六日南京ニ於テ
王正廷

支那國駐劄日本
臨時代理公使
重光葵殿

第一部 表

項目 番號	品名		千九百二十九年ノ支那國輸入稅表ニ於ケル番號
一	綿製品		一乃至一〇、一二乃至一四、二二乃至二四、二六乃至三二、三七、三八、四〇、四三、四六、四七、五一、五三、五八、五九
二	漁獲物及海産物		一九六乃至一九九、二〇二、二〇五、二〇六、二一三、二一六、二一七、二一八、二三一
三	小麦粉		二八〇
四	雜品		三〇二、五六七、五六八、六〇三乃至六〇五(ハ)、六一二、六四七、六五二(ハ)、六六六(ハ)、六七七(ハ)、六八五、七〇六、七〇九(ハ)、七〇九(イ)、七一〇、七一五

支那國輸入稅表ニ於ケル番號
 支那國輸入稅表ニ於ケル番號
 支那國輸入稅表ニ於ケル番號
 支那國輸入稅表ニ於ケル番號

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十

本表第一部ニ掲ケラルル番號ハ千九百二十九年ノ支那國輸入稅表ニ於ケル該當番號ノ下ニ掲ケラルルト同一ノ物品ヲ示ス但シ左記番號ハ其ノ下ニ列記セララルル物品ノミヲ示ス

六五二(ロ) 謾製ノ短靴及長靴竝ニ全部又ハ一部謾製ニテ作ラレタル履物

六六六(ロ) 掛置時計及一單位ニ組立テラレタル「ムーヴメント」(一打ニ付價格四十海關兩ヲ超エサルモノ)

六七七(ハ) 海狸毛又ハ毛以外ノ材料ニテ作ラレタル「フェルト」製ノ帽子(一打ニ付價格十五海關兩ヲ超エサルモノ)

七〇六(ノ) 魔法鐵及同部分品(一打ニ付價格十五海關兩ヲ超エサルモノ)

七〇九() 電氣機械及同部分品

七一〇 玩具及遊戯品

七一五 車輛 別號ニ掲ケラレサル「ヴ^エロシビード」(例ヘハ自
 轉車等、一箇ニ付價格四十海關兩ヲ超エサルモノ)

本表第一部ニ掲ケラルル物品ニ對スル稅率ハ前記稅表ニ於ケル該營番號ノ
 下ニ記載セラルル稅率ト同一タルヘシ但シ側線ヲ附セラレサル番號ニ屬ス
 ル物品ニ對スル稅率ニ關シテハ支那國政府ハ前記稅率ヲ從價二分五厘ヲ超
 エサル範圍内ニ於テ引上クルノ權利ヲ留保スルモノトス從量稅率ニ付テハ
 右ニ規定セラルル引上ハ前記稅表ニ於ケル稅率カ決定セラレタル原課稅價
 格ヲ一律ニ又ハ千九百二十八年ニ稅率改訂委員會ニ依リ採擇セラレタル課
 稅價格ヲ一律ニ基礎トシテ行ハルヘシ

[Faint, mostly illegible text, likely bleed-through from the reverse side of the page.]

項目 番號	品名	現行日本國輸入稅表ニ於ケル番號
一	夏布	二九九、五（幅四十八センチメートルヲ超エタルモノヲ除ク） 丙ノ一、イノ一乃至イノ四 丙ノ二、イノ一乃至イノ四
二	絹織物	三〇三、三ノ甲、イ及ロ
三	刺織布	三〇八（手工品ニ限ル）

支那國政府ハ輸入關稅以外ニ輸入綿織絲（番號第五十一）ニ對シ消費稅ヲ課スルノ權利ヲ留保ス

第二部

支那國政府ハ輸入關稅以外ニ輸入綿織絲（番號第五十一）ニ對シ消費稅ヲ課スルノ權利ヲ留保ス

第一條 支那國政府ハ輸入關稅以外ニ輸入綿織絲（番號第五十一）ニ對シ消費稅ヲ課スルノ權利ヲ留保ス

第二條 支那國政府ハ輸入關稅以外ニ輸入綿織絲（番號第五十一）ニ對シ消費稅ヲ課スルノ權利ヲ留保ス

第三條 支那國政府ハ輸入關稅以外ニ輸入綿織絲（番號第五十一）ニ對シ消費稅ヲ課スルノ權利ヲ留保ス

第四條 支那國政府ハ輸入關稅以外ニ輸入綿織絲（番號第五十一）ニ對シ消費稅ヲ課スルノ權利ヲ留保ス

第五條 支那國政府ハ輸入關稅以外ニ輸入綿織絲（番號第五十一）ニ對シ消費稅ヲ課スルノ權利ヲ留保ス

第六條 支那國政府ハ輸入關稅以外ニ輸入綿織絲（番號第五十一）ニ對シ消費稅ヲ課スルノ權利ヲ留保ス

第七條 支那國政府ハ輸入關稅以外ニ輸入綿織絲（番號第五十一）ニ對シ消費稅ヲ課スルノ權利ヲ留保ス

第八條 支那國政府ハ輸入關稅以外ニ輸入綿織絲（番號第五十一）ニ對シ消費稅ヲ課スルノ權利ヲ留保ス

第九條 支那國政府ハ輸入關稅以外ニ輸入綿織絲（番號第五十一）ニ對シ消費稅ヲ課スルノ權利ヲ留保ス

第十條 支那國政府ハ輸入關稅以外ニ輸入綿織絲（番號第五十一）ニ對シ消費稅ヲ課スルノ權利ヲ留保ス

本表第二部ニ掲ケラルル番號ハ別ニ明記ナキ限り現ニ實施中ノ日本國輸入
 稅表ニ於ケル該當番號ノ下ニ掲ケラルルト同一ノ物品ヲ示ス
 本表第二部ノ第一項目ニ掲ケラルル物品ニ對スル稅率ハ現ニ實施中ノ日本
 國輸入稅表ニ於ケル該當番號ノ下ニ記載セラルル稅率ト同一ナルヘク又本
 表第二部ノ第二及第三項目ニ掲ケラルル物品ニ對スル稅率ハ贅澤品等ノ輸
 入稅ニ關スル法律ニ依リ現ニ課セラルル稅率ニ比シ三割ヲ減セラルヘシ

品名	備考
...	...
...	...
...	...
...	...
...	...
...	...

...

第二附屬書

(來翰)

以書翰啓上致候陳者支那國ト日本國トノ間ニ本日署名セラレタル協定ニ關シ本部長ハ右協定ノ實施後四月ノ期間ノ滿了ト同時ニ、支那國ト日本國トノ間ノ陸境ヲ通過シテ輸入セラレ又ハ輸出セララルル物品ニ對シ從來課セラレタル支那國關稅輕減率カ廢止セララルヘク且輕減セラレサル關稅率カ右物品ニ對シ適用セララルヘシトノ本部長ノ了解ヲ貴下ニ於テ日本國政府ノ爲ニ確認セラレンコトヲ要求スルノ光榮ヲ有シ候

本部長ハ茲ニ重テ貴代理公使ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬 具

支那共和國十九年(一千九百三十年)五月六日南京ニ於テ

王 正 廷

支那國駐劄日本
國臨時代理公使

重 光 葵 殿

支那國駐劄日本
國臨時代理公使
重光葵殿
支那共和國十九年(一千九百三十年)五月六日南京ニ於テ
王正廷

（往翰）

以書翰啓上致候陳者本使ハ本日附ノ左記貴翰ヲ受領スルノ光榮ヲ有シ候

支那國ト日本國トノ間ニ本日署名セラレタル協定ニ關シ本部長ハ右協定

ノ實施後四月ノ期間ノ滿了ト同時ニ、支那國ト日本國トノ間ノ陸境ヲ通

過シテ輸入セラレ又ハ輸出セララルル物品ニ對シ從來課セラレタル支那國

關稅輕減率カ廢止セララルヘク且輕減セラレサル關稅率カ右物品ニ對シ適

用セララルヘシトノ本部長ノ了解ヲ貴下ニ於テ日本國政府ノ爲ニ確認セラ

レシコトヲ要求スルノ光榮ヲ有シ候

本使ハ前記了解カ正確ナルコトヲ日本國政府ノ爲ニ確認スルノ光榮ヲ有シ

候

本使ハ茲ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬 具

（往翰）

以書翰啓上致候陳者本使ハ本日附ノ左記貴翰ヲ受領スルノ光榮ヲ有シ候

支那國ト日本國トノ間ニ本日署名セラレタル協定ニ關シ本部長ハ右協定

ノ實施後四月ノ期間ノ滿了ト同時ニ、支那國ト日本國トノ間ノ陸境ヲ通

過シテ輸入セラレ又ハ輸出セララルル物品ニ對シ從來課セラレタル支那國

關稅輕減率カ廢止セララルヘク且輕減セラレサル關稅率カ右物品ニ對シ適

用セララルヘシトノ本部長ノ了解ヲ貴下ニ於テ日本國政府ノ爲ニ確認セラ

レシコトヲ要求スルノ光榮ヲ有シ候

本使ハ前記了解カ正確ナルコトヲ日本國政府ノ爲ニ確認スルノ光榮ヲ有シ

候

本使ハ茲ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬 具

支那の事情は最近ますます困難を来すものあり、

日本は支那の事情を注意し、その解決に努力するものあり、

支那の事情は最近ますます困難を来すものあり、

日本は支那の事情を注意し、その解決に努力するものあり、

支那の事情は最近ますます困難を来すものあり、

日本は支那の事情を注意し、その解決に努力するものあり、

支那の事情は最近ますます困難を来すものあり、

昭和五年（千九百三十年）五月六日南京ニ於テ

重光 葵

支那共和國國民 王 正 廷閣下
政府外交部長

（以下省略）